

- ・国内伝染病サーベイランスと対応システムの  
評価 エチオピア WER 2001, 76, 9-16 WHO  
2001
- ・伝染病監視体制への統合的アプローチ WER  
2000, 75, 1-8 WHO 2000
- 環境保健サーベイランス調査について 環境省  
<http://www.env.go.jp/chemi/survey/index.html>
- ・食品の安全性に関する有害化学物質のサー  
ベイランス・モニタリング中期計画 農林水産省  
[http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk\\_a  
nalysis/survei/middle\\_chem.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/survei/middle_chem.html)
- ・牛海綿状脳症(BSE)サーベイランス事業と動物  
衛生研究所  
[http://ss.niah.affrc.go.jp/disease/bse/niahsurv  
ey.html](http://ss.niah.affrc.go.jp/disease/bse/niahsurvey.html)
- ・医療の質国際指標—OECD 医療の質指標プロ  
ジェクト報告書— OECD、(訳)岡本悦司 2006  
年

表1. 既存の主なサーベイランスシステムの概要

調査名	根拠法	目的	調査範囲/報告の対象	報告時期	調査事項	調査方法	結果の公表方法	公表の時期
感染症発生動向調査	感染症法	感染症に関する情報を全国的規模で迅速に収集、解析、還元し、感染症に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資する。	保健所	毎週及び毎年	感染新症法に基づき届出疾病で定められた感染症の患者数の届け出数	感染症サーベイランスシステム (NESID) にオンラインで報告	週報 (IDWR) 及び年報の発行 国立感染症研究所 HP	毎週及び毎年
病原微生物	感染症法	感染症に関する情報を全国的規模で迅速に収集、解析、還元し、感染症に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資する。	地方衛生研究所、検疫所	毎週及び毎年	検出された病原体数	感染症サーベイランスシステム (NESID) にオンラインで報告	週報 (IASR) 国立感染症研究所 HP	毎週及び毎年
院内感染対策サーベイランス	統計法 (一般統計)	全国の病院において実施されている院内感染対策を支援するため、院内感染対策に関する薬剤耐性菌の発生动向等の基礎資料を得るとともに、患者の基礎疾患や重症度等との関連を明らかにする。	200床以上で参加を希望する病院	毎月/6ヶ月ごと/毎年	検査部門、全入院患者部門、手術部位感染部門、集中治療室部門、新生児集中治療室部門の項目	参加医療機関がオンラインで報告	半期報及び年報 院内感染対策サーベイランスHP上	半期・四半期ごと、及び毎年

表2-1. 疾病に関わる主な統計調査

調査名	種類	目的	調査範囲/報告の対象	調査時期	調査事項	調査方法	結果の公表例
患者調査	基幹	病院及び診療所を利用する患者について、その傷病状況等を明らかにし、医療行政の基礎資料を得る。	医療機関(約6000) (標本調査)	3年周期、毎回10月に実施	性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種類別、受療の状況等	調査票	厚生労働省HP (財)厚生統計協会 (電子媒体)、e-Stat (政府統計の総窓口) HP
衛生行政報告例	一般	衛生関係諸法規の施行に伴う各都道府県、指定都市及び中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料を得る。	都道府県・指定都市・中核市中	毎年及び2年周期	精神保健福祉関係、栄養関係、衛生検査関係、生活衛生関係、食品衛生関係、乳肉衛生関係、医療関係、薬事関係、母体保護関係、特定疾患(難病)関係、狂犬病予防関係	調査票	保険・衛生業務報告 (年報及び隔年報)、厚生労働省HP、e-Stat
地域保健・健康増進事業報告(地域保健・老人保健事業報告)	一般	地域住民の健康の保持及び増進を目的とした地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体である保健所及び市区町村ごとに把握する。	全国の保健所及び市区町村	毎年	地域保健事業(母子保健、健康増進、市化保健)、健康保健福祉、衛生教育、職員の配置状況等)、健康増進事業(健康手帳の交付、健康診査、機能訓練、訪問指導、がん検診等)	調査票	地域保健・健康増進事業報告、厚生労働省HP、e-Stat HP
国民健康・栄養調査	一般	健康増進法に基づき国民の身体の状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得る。	全国の世帯及び世帯員/満1歳以上の世帯員(標本調査)	毎年	身体状況調査、栄養摂取状況調査、食生活状況調査	調査票、計測、検査、問診	国民健康・栄養報告、厚生労働省HP、e-Stat HP
歯科疾患実態調査	一般	国民の歯科疾患の現状を把握する。	満1歳以上のすべての世帯員(標本調査)	6年周期	現在歯の状況(う蝕の有無、処置の有無)、喪失歯およびその補綴状況、歯肉の状況、歯列・咬合の状況、歯ブラシの使用状況、フッ化物の塗布状況、咬合・顎関節の異常	調査票、口腔診査	歯科疾患実態調査報告、厚生労働省HP、e-Stat HP
食肉検査等情報還元調査	一般	1 衛生的な食肉等の提供のために、とちく場等で行われる毎月の検査を家畜生産段階にフィードバックし、生産段階での対策を促進する。 2 都道府県等の衛生行政推進に当たって全国的な状況等を随時利用できよう体制を構築する。	都道府県、保健所を設置する市、特別区	毎年	と畜場、と畜場外と殺頭数、と畜場内と殺頭数、処分別頭数、疾病別頭数、食鳥処理場、食鳥処理衛生管理者、届出食肉販売業者、食鳥検査羽数、処分実羽数、疾病別羽数、化製場及び魚介類鳥類等製造貯蔵施設、死亡獣畜取扱場畜舎及び家きん舎、化製場等	調査対象から報告されたデータを収集	厚生労働省HP、e-Stat HP
血液製剤使用実態調査	一般	医療機関における血液製剤の使用状況等を調査することにより、適正使用の推進に必要な基礎資料を得る。	病院(精神病院を除く)、20床以上の約8000施設	毎年	血液製剤の使用実態等、血液製剤の管理体制、適正使用の取り組み状況等	調査票	厚生労働省HP、e-Stat HP 各医療機関、及び都道府県に連絡
食中毒統計調査	一般	食中毒の患者並びに食中毒死者の発生状況を的確に把握し、また複雑な発生状況を解明する。	全国の保健所	毎月	原因となった家庭・業者・施設等の所在地、名称、発病年月日、原因食品名、病因物質、患者数、死者数等 医師からの届け出	調査票	厚生労働省HP、e-Stat HP

表2-2 電子化医療情報の特徴

	本来目的	主な記載項目	収集の期間
レセプト	診療報酬明細	患者情報（年齢、性別）、傷病名（ICD10）、副傷病名、医療診療行為、医薬品等	月単位
DPC	診療報酬明細	患者情報（年齢、性別）、主要診断群、主傷病名（ICD10）、副傷病、手術、処置、重症度等	月単位
電子カルテ	診療	傷病名、処置、検査、転帰	一



表4. サーベイランスの機能向上に寄与する研究項目

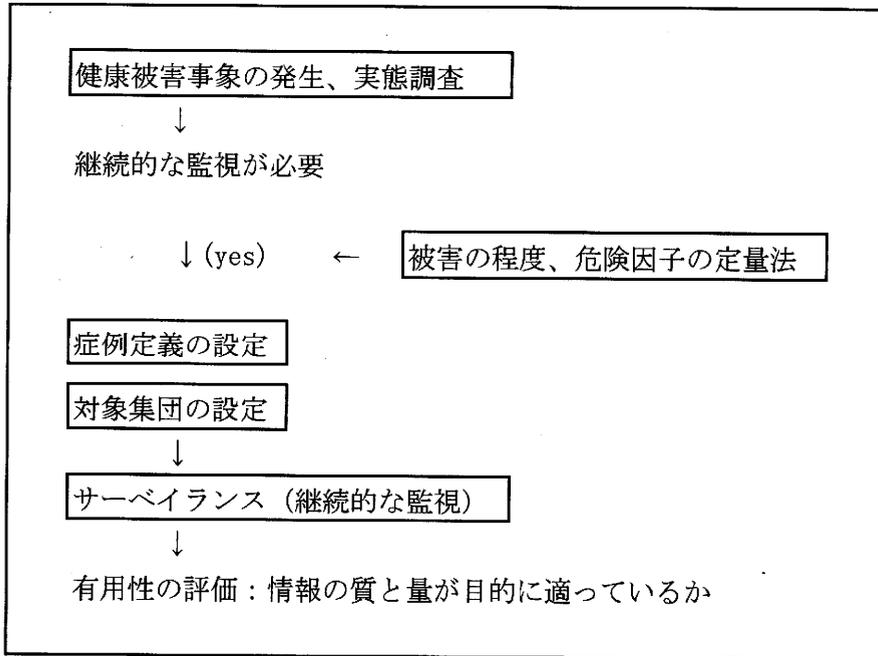
プロセス	システムの設計	情報収集	分析・解釈・還元	システムの評価
要素	重要性、デザイン、対象集団、症例定義	情報源、収集方法、タイミング、ハンドリング	分析方法、タイミング	質、継続性、費用対効果、有用性
疫学	・対象の重要性の評価、対象集団の設定、症例定義の設定	・利用可能な情報源	・結果の分析と解釈（時、人、場所の情報、季節性、周期性などの評価、集積性の評価）	・情報の質（代表性、感度、特異度など）の評価、システムの有用性の評価
統計学	・対象集団の設定、情報の質（代表性、感度、特異度など）の予測	・情報構造の標準化	・分析のアルゴリズム、ソフトの開発	・情報の質（代表性、感度、特異度など）の評価
情報工学	・コンピュータシステムのデザイン	・ネットワーク、情報抽出の方法、情報構造の標準化、規格の標準化、情報統合の方法、	・時間的、空間的表示方法のアルゴリズム、ソフトの開発	
実験生物学	・症例定義の設定（測定法）			
経済学				・費用便益分析

図1. 疾病進行の過程とサーベイランス等による情報取得の関連

疾病進行の過程 具体的項目	遺伝、生活習慣	原因物質/媒体	発症と関連行動	診断	処置	転帰
患者発生調査				○		△
病原体検出情報		○				
食中毒統計調査		○		○		○
症候群サーベイランス			○			
電子レセプト				○	○	△
DPC	△			○	○	△
電子カルテ	△			○	○	○
人口動態統計						○
健康危険情報		△	○	○		

○：調査・報告項目、△：ある程、度情報が得られる

図2. 健康被害事象の調査からサーベイランスへ



付表1. 米国CDCで行われているサーベイランスの主なトピックと対応する日本の調査等

Topics by CDC	日本語	対応する日本の主な調査等
A		
Access to Health Care	医療へのアクセス	病院報告
Accidents/Unintentional Injuries	事故/不慮の外傷	患者調査、事故統計
ADHD	注意欠陥多動性障害	— (後出)
Adoption	養子縁組	—
Adolescent Health	青年期の健康	地域保健・健康増進事業報告
AIDS/HIV	エイズ/HIV	地域保健・健康増進事業報告、感染症発生動向調査、患者調査
Alcohol Use	アルコール摂取	地域保健・健康増進事業報告
Allergies	アレルギー	患者調査、レセプト
Alzheimer's Disease	アルツハイマー病	地域保健・健康増進事業報告 精神保健福祉
Ambulatory Care (Doctor Visits)	外来診療	患者調査、レセプト
American Indian or Alaska Native Health	アメリカインディアンとアラスカ原住民の健康	—
Anemia	貧血	患者調査、レセプト
Arthritis	関節炎	患者調査、レセプト
Asian or Pacific Islander Health	アジア人と太平洋諸島の住民の健康	—
Assault/Homicide	暴行/殺人	犯罪統計 (警察庁)
Asthma	喘息	患者調査、レセプト
Attention Deficit Hyperactivity Disorder	注意欠陥多動性障害	地域保健・健康増進事業報告 (精神保健福祉)
B		
Birth Defects (Congenital Anomalies)	先天性異常	人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告 (母子保健)
Births/Natality	出生/出生率	人口動態調査
Births-Method of Delivery	出生/出産法	人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告 (母子保健)
Births-Multiple Births	出生/多胎児	人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告 (母子保健)
Births-Teen Births	出生/10代の出産	人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告 (母子保健)、衛生行政報告例 (母体保護)
Births-Unmarried Childbearing	出生/未婚の出産	人口動態調査
Birthweight and Gestation	出生体重と妊娠期間	人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告 (母子保健)、衛生行政報告例 (母体保護)
Black or African American Health	黒人とアフリカ系アメリカ人の健康	—

Body Measurements	身体測定	地域保健・健康増進事業報告、特定健康診査
Bronchitis	気管支炎	患者調査、レセプト
C		
Cancer	がん	地域保健・健康増進事業報告 がん 検診、患者調査、がん登録
Cervical Cancer/Pap Tests	子宮頸癌/パップテスト	地域保健・健康増進事業報告 がん 検診
Chickenpox	水痘	感染症発生動向調査
Child Health	子どもの健康	地域保健・健康増進事業報告
Cholesterol	コレステロール	国民健康栄養調査、特定健康診査
Chronic Liver Disease/Cirrhosis	慢性肝疾患/肝硬変	地域保健・健康増進事業報告、患者調査
Chronic Obstructive Pulmonary Diseases	慢性閉塞性肺疾患	患者調査、レセプト
Cirrhosis/Liver Disease	肝硬変/慢性肝疾患	－（既出）
Congenital Anomalies (Birth Defects)	先天性異常	－（既出）
Contraception	避妊	－
D		
Deaths/Mortality	死亡/死亡率	人口動態調査
Dental/Oral Health	歯科/口腔保健	歯科疾患実態調査、地域保健・健康増進事業報告
Depression	うつ	地域保健・健康増進事業報告 精神保健福祉
Diabetes	糖尿病	糖尿病実態調査、患者調査
Digestive Disease	消化器系疾患	患者調査
Disability (Limitations)	障害	身体障害児・者等実態調査
Divorce	離婚	人口動態調査
Doctor Visits (Ambulatory Care)	外来診療	－（既出）
Drug Use (Illegal)	不正な薬物使用	－
Drug Use (Therapeutic)	治療用の薬剤使用	薬事生産動態統計調査
E		
Electronic Medical Records	電子カルテ	電子カルテ
Emergency Department Visits	救急外来	レセプト
Emphysema	肺気腫	患者調査
Exercise/Physical Activity	身体活動	地域保健・健康増進事業報告

H		
Health Expenditures	医療費	国民医療費調査
Health Insurance Coverage	医療保険の適用範囲	医療保険
Heart Disease	心疾患	循環器疾患基礎調査、患者調査
Hepatitis	肝炎	患者調査、地域保健・健康増進事業報告
Hispanic/Latino Health	ヒスパニックとラテン系の住民の健康	—
HIV/AIDS	HIV/エイズ	— (既出)
Home Health Care	在宅治療、在宅介護、	レセプト、介護給付費実態調査
Homicide/Assault	殺人/暴行	— (既出)
Hospice Care	ホスピスケア	レセプト
Hospital Utilization	医療機関の利用状況	病院報告
How Healthy are We?	健康度	国民健康・栄養調査
Hypertension	高血圧	患者調査
I		
Immunization	予防接種	地域保健・健康増進事業報告
Infant Health	乳児の健康	乳幼児身体発育調査、地域保健・健康増進事業報告
Infant Mortality	乳児死亡率	人口動態統計
Infectious Disease	感染症	感染症発生動向調査
Infertility	不妊症	—
Influenza	インフルエンザ	感染症発生動向調査
Injury	外傷	患者調査
Inpatient Surgery	入院を伴う手術	患者調査、レセプト、DPC
K		
Kidney Disease	腎疾患	患者調査
L		
Leading Causes of Death	死亡の主原因	人口動態調査
Life Expectancy	平均余命	人口動態調査
Liver Disease/Cirrhosis	肝硬変/慢性肝疾患	— (既出)
Lung Diseases Chronic Obstructive	慢性閉塞性肺疾患	— (既出)
M		
Mammography/Breast Cancer	マンモグラフィー/乳がん	地域保健・健康増進事業報告
Marriage	婚姻	人口動態調査

Measles	麻疹	感染症発生動向調査
Men's Health	男性の健康	—
Mental Health	精神保健	地域保健・健康増進事業報告
Mexican American Health	メキシコ系アメリカ人の健康	—
Mortality/Deaths	死亡率/死亡	— (既出)
N		
Natality/Births	出生率/出生	— (既出)
Nursing Home Care	養護ホームでのケア	—
0		
Obesity/Overweight	肥満/過体重	国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告
Obstetrical Procedures	産科の処置	レセプト、衛生行政報告例
Older Person's Health	高齢者の健康	地域保健・健康増進事業報告
Oral/Dental Health	口腔/歯科保健	— (既出)
Overweight/Obesity	肥満/過体重	— (既出)
P		
Pap Tests / Cervical Cancer	パップテスト/子宮頸癌	地域保健・健康増進事業報告
Pertussis	百日咳	感染症発生動向調査
Physical Activity/Exercise	身体活動	— (既出)
Pneumonia	肺炎	患者調査
		感染症発生動向調査
Prostate Disease	前立腺疾患	患者調査
Procedures (inpatient)	入院を伴う処置	患者調査、レセプト、DPC
R		
Reproductive Health	リプロダクティブヘルス	地域保健・健康増進事業報告
S		
Sexually Transmitted Diseases	性行為感染症	患者調査、感染症発生動向調査
Sinusitis (Chronic)	慢性副鼻腔炎	患者調査
Smoking	喫煙	国民健康栄養調査、DPC
Stroke	卒中	患者調査、レセプト
Suicide/Self-Inflicted Injury	自殺/自傷	自殺統計、人口動態統計
Surgery (inpatient)	入院を伴う手術	— (既出)
T		

Teen Pregnancy	10代の妊娠	衛生行政報告例
U		
Unintentional Injuries/Accidents	不慮の外傷/事故	— (既出)
W		
White Population Health	白人の健康	—
Whooping Cough	百日咳	— (既出)
Women's Health	女性の健康	—

付表2. DALY値の大きい疾病に対する最近の主な対策、立案の根拠となった調査、及び関連の調査

DALY	疾病	最近の主な対策の例	情報源	他の調査
1	脳血管疾患	健康フロンティア戦略（平成16年）	人口動態統計	患者調査 特定健康診査
2	うつ病、躁鬱病	「誰もが安心して生きられる、温かい社会づくりを目指して」 (自殺・うつ病等対策プロジェクト) (平成22年)	人口動態統計 自殺統計	特定健康診査
3	認知症（アルツハイマー病など）	認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト (平成20年)	厚生科学研究 (長寿科学総合研究事業)	患者調査
4	虚血性心疾患	健康フロンティア戦略（平成16年）	人口動態統計	患者調査 循環器疾患基礎調査 循環器疾患診療実態調査
5	自殺	「誰もが安心して生きられる、温かい社会づくりを目指して」 (自殺・うつ病等対策プロジェクト) (平成22年)	人口動態統計 自殺統計	—
6	難聴	今後の難病対策の在り方について（中間報告） (平成14年)	聴覚・平衡機能系疾患調査研究班（急性高度難聴）	患者調査 特定疾患調査解析システム 障害者
7	関節症	介護予防の推進に向けた運動器疾患対策について (平成20年)	国民生活基礎調査	患者調査
8	不慮の事故（交通事故以外）	—	—	患者調査 人口動態統計
9	肺がん	がん対策基本法（平成19年施行）	患者調査	人口動態統計 がん登録 がん検診
10	胃がん	がん対策基本法（平成19年施行）	患者調査	人口動態統計 がん登録 がん検診

付表3. 健康安全確保研究分野におけるサーベイランスに関連のある研究課題

(1) 「サーベイランス」の研究

食品の安心・安全確保推進研究

薬剤耐性食中毒菌サーベイランスに関する研究	渡邊 治雄
輸入生鮮魚介類および動物生肉のウイルス汚染のサーベイランスに関する研究	西尾 治
輸入食品における食中毒菌サーベイランス及びモニタリングシステム構築に関する研究	山本 茂貴
薬剤耐性食中毒菌に係る解析技術の開発及びサーベイランスシステムの高度化に関する研究	渡辺 治雄

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究

ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦
日本における血液製剤の副作用サーベイランス体制の確立に関する研究	浜口 功
医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦

健康安全・危機管理対策総合研究

地域での健康危機管理情報の早期探知、行政機関も含めた情報共有システムの実証的研究	大日 康史
--	-------

(2) 健康影響や安全性評価等に関する研究

地域医療基盤開発推進研究

集積された医療事故事例の予防可能性の検証と防止のために必要となる費用に関する研究	大道 久
無床診療所等における医療安全管理体制構築に関する研究	石川 雅彦
安全性の高い療養環境及び作業環境の確立に関する研究	小林 寛伊
統合医療の安全性と有効性に関する研究	福井 次矢
医療安全に係るコミュニケーションスキルに関する研究-患者ハラスメントに焦点をあてて-	兼兒 敏浩
医療放射線の安全確保に関する研究	細野 眞
地域・市民の視点からみた医療の質・安全・機能の充実度と必要資源の評価・向上に関する研究開発	今中 雄一
歯科医療における院内感染対策の評価指標の開発と有効性の検証	泉福 英信
肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の院内発症予防ガイドライン公開後の評価ならびに改定と普及・推進に関する研究	中野 赳
院内事故調査委員会の運営指針の開発に関する研究	相馬 孝博
歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究	宮崎 秀夫
医療依存度の高い在宅療養者に対する医療的ケアの実態調査および安全性確保に向けた支援関係職種間の効果的な連携の推進に関する検討	川村 佐和子
皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究	真田 弘美
地域を支える医療機器の適正使用の確保に関する研究	菊地 眞
医療の質・安全を確保する新しい医療システムを実現するための戦略に関する研究	上原 鳴夫
歯科医療における安全管理評価法の確立に関する研究	嶋田 昌彦
診療関連死における剖検に関する実態および意識調査	池田 典昭
小児救急電話相談の実施体制および相談対応の充実に関する研究	保科 清

医療現場における安全性（感染制御策）の質向上をはかるための総合的研究 労働安全衛生総合研究	小林 寛伊
石綿ばく露による健康障害リスクに関する疫学調査の開発研究	高橋 謙
労働者の自殺予防に関する介入研究	島 悟
静電気リスクアセスメント手法の確立	大澤 敦
職業性石綿ばく露による肺・胸膜病変の経過観察と肺がん・中皮腫発生に関する研究	岸本 卓巳
職場における電磁場環境および人体ばく露の実態と労働衛生管理の在り方に関する調査研究	多氣 昌生
労働者のメンタルヘルス不調の予防と早期支援・介入のあり方に関する研究	横山 和仁
事業場における過重労働による健康障害防止対策を促進させるための研究	堀江 正知
労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の浸透手法に関する調査研究	川上 憲人
非正規雇用の一典型としての外国人労働者における労災・職業病リスクの解明と参加型手法による予防対策の確立	毛利 一平
加齢に伴う心身機能の変化と労働災害リスクに関する研究	中村 隆宏
林業従事者における蜂刺され症例の研究	平田 博国
食品の安心・安全確保推進研究	
食品によるバイオテロの危険性に関する研究	今村 知明
モダンバイオテクノロジー応用食品の安全性確保に関する研究	西島 正弘
既存添加物の発がん性等に関する安全性評価研究	神谷 研二
既存添加物の慢性毒性及び発がん性に関する研究	西川 秋佳
既存添加物等の安全性に関する研究	鰐淵 英機
食品における微生物迅速検査法の開発及びその精度評価システムに関する研究	小崎 俊司
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	古江 増隆
食品中の遺伝毒性を有する有害物質のリスク管理に資する総合研究	今井 俊夫
ダイオキシン類等の有害化学物質による食品汚染実態の把握に関する研究	堤 智昭
食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究	松田 りえ子
非食用バイオテクノロジー応用生物の食品への混入危害防止に関する安全性確保のための研究	礪山 浩
健康食品における安全性確保を目的とした基準等作成のための行政的研究	田中 平三
特定保健用食品等の有効性・安全性を確保するための科学的根拠の評価方法に関する研究	芝池 伸彰
国際的動向を踏まえた食品添加物の規格、基準の向上に関する調査研究	佐藤 恭子
重金属等を含む食品の安全性に関する研究	香山 不二雄
カビ毒を含む食品の安全性に関する研究	小西 良子
貝毒を含む食品の安全性確保に関する研究	安元 健
動物用医薬品等に関する畜水産食品の安全性確保に係る研究	三森 国敏
食品中残留農薬等の汚染実態把握と急性暴露評価に関する研究	米谷 民雄
冷凍食品の安全性確保に関する研究	春日 文子
食品製造における食中毒菌汚染防止のための高度衛生管理に関する研究	品川 邦汎
細菌性食中毒の防止対策に関する研究	熊谷 進
食品中のウイルスの制御に関する研究	武田 直和

母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	多田 裕
食品用器具・容器包装、乳幼児用玩具及び洗浄剤の安全性確保に関する研究	河村 葉子
食品中の複数の化学物質による健康影響に関する調査研究	西川 秋佳
超高速・簡便な遺伝子組換え食品の新規確定検査法の開発	張替 直輝
貝毒を含む食品の安全性確保に関する研究	相良 剛史
健康食品等の安全性・有効性評価研究分野	石橋 弘志
国際食品規格の策定プロセスに関する研究	里村 一成
放射線照射食品の検知技術に関する研究	宮原 誠
食品を介するBSEリスクの解明等に関する研究	佐多 徹太郎
既存添加物の有効性と品質を確保するための規格試験法の開発	山崎 壮
清涼飲料水中の汚染原因物質に関する研究	工藤 由起子
食品の規格基準に係る測定値に伴う不確かさに関する研究	松岡 英明
食品における衛生管理手法及びその精度管理に関する研究	五十君 静信
食品中の毒素産生食中毒細菌および毒素の直接試験法の研究	鎌田 洋一
食肉食鳥衛生検査における家禽・家畜等のウイルス性疾病検査に関する研究	棚林 清
自然毒のリスクプロファイル作成を目指した調査研究	塩見 一雄
抗原応答ゲート膜を用いた超高速イムノクロマト法の開発	伊藤 大知
微生物産生毒素のハイリスクグループへの慢性的な健康影響に関する研究	井上 薫
食品防御の具体的な対策の確立と実行可能性の検証に関する研究	今村 知明
生体試料バンクを有効活用した食の安全と安心の基盤形成	小泉 昭夫
科学的知見に基づく食物アレルギー患者の安全管理とQOL向上に関する研究	宇理須 厚雄
第3世代バイオテクノロジー応用食品等の安全性確保とリスクコミュニケーションに関する研究	西島 正弘
健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保に関する研究	梅垣 敬三
食品添加物等における遺伝毒性発がん物質の評価法に関する研究	能美 健彦
食品添加物等における遺伝毒性・発がん性の短期包括的試験法の開発に関する研究	西川 秋佳
食品添加物等における遺伝毒性・発がん性の短期包括的試験法の開発に関する研究	鰐淵 英機
食品中成分から生成されるアクリルアミドのリスク管理対策に関する研究	今井 俊夫
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆
食品中残留農薬のリスク管理手法の精密化と国際化対応に関する研究	加藤 保博
下痢性貝毒のマウス・バイオアッセイの原理・機序の解明、および代替法の開発に関する研究	鈴木 徳高
母乳を介したフタル酸ジエー（2-エチルヘキシル）による乳幼児の発達毒性と成熟後の脂質量への影響	伊藤 由起
トキシコキネティクス／トキシコプロテオミクス解析による食品ナノマテリアルの免疫毒性リスク予測・回避法の開発	吉岡 靖雄
既存添加物「酸化防止剤」の製法による抗酸化能及び主要成分の変動解析	天倉 吉章
腸管粘膜免疫組織パイエル板上皮細胞バリアの分子基盤に立脚した迅速かつ簡便な食物アレルギー予測評価系の開発	近藤 昌夫
抗酸化物質を含有するいわゆる健康食品の安全性・有効性に関する研究	竹林 純

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究

医薬品等の品質・安全性に係る国際的動向を踏まえた評価に関する研究	新見 伸吾
医薬品の使用成績に基づく有効性、安全性の評価方法に関する研究	竹内 正弘
生薬及び漢方処方薬の有効性評価手法・安全性確保と国際調和に関する研究	合田 幸広
技術の進展等に対応した医薬品医療機器等の製造所の効率的監査手法のあり方等に関する研究	四方田 千佳子
血液製剤の安全性確保のための技術開発と標準化及び血液製剤の精度管理法の開発に関する研究	山口 照英
国際的整合性を旨とする医薬品等の品質、有効性及び安全性に関する研究	井上 達
動物実験代替法を用いた安全性評価体制の確立と国際協調に関する研究	小島 肇
小児科領域での投薬に適した医薬品剤形のあり方と、剤形変更した医薬品の安全性・有効性の確保に関する研究	石川 洋一
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	伊藤 進
医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究	梶谷 文彦
医療機器・医用材料のリスクアセスメント手法開発に関する研究	土屋 利江
薬剤性肺障害の発現状況の国際比較に関する研究	久保 恵嗣
乱用薬物の分析・同定に関する研究	合田 幸広
粘膜投与等の新投与経路ワクチン研究における品質管理に関する研究	板村 繁之
血液製剤の安全性向上をめざした高圧処理による病原体不活化法の研究	岡田 義昭
ナノ物質等を配合した化粧品及び医薬品部外品の安全性及び品質確保に係わる試験法に関する研究	五十嵐 良明
生体内埋設型医療機器の素材に係わる生物学的な安全性評価に関する研究-発がん性を主体とした再評価と国際調和-	関田 清司
医薬品の国際調和された品質管理監督システムの我が国への導入に際しての最適化に関する研究	檜山 行雄
院内血液製剤の適正な製造体制・順守基準に関する研究	大戸 斉
献血の安全性確保と安定供給のための新興感染症等に対する検査・スクリーニング法等の開発と献血制限に関する研究	倉根 一郎
輸血副作用の原因遺伝子ハプトグロビン欠失アレルの迅速簡便な診断法の確立と輸血前診断への臨床応用	神田 芳郎
輸血副作用把握体制の確立-特に免疫学的副作用の実態把握とその対応-	高本 滋
血液製剤の安全性向上のために実施される肝炎ウイルス等検査法の精度管理評価に関する研究	水澤 左衛子
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	吉川 裕之
医薬品による有害事象の発生における個人差の要因に関する研究	頭金 正博
医療事故防止に向けた薬剤師の取り組みと医療上の評価に関する研究	土屋 文人
医薬品等の個人輸入における保健衛生上の危害に関する研究	木村 和子
ヒト幹細胞を用いた細胞・組織加工医薬品等の品質及び安全性の確保のあり方に関する研究	早川 堯夫
フィブリノゲン製剤等の納入先医療機関における製剤の使用実態及び当該製剤を使用した患者における肝炎ウイルス感染等の実態に関する研究	山口 照英
薬害肝炎の検証及び再発防止に関する研究	堀内 龍也

血液製剤に含まれるC型肝炎ウイルスの感染経路による感染リスクの差に関する研究	脇田 隆宇
献血者でのHBV-DNA陽性血におけるデルタ肝炎ウイルス感染の実態	八橋 弘
季節性インフルエンザワクチン及び新規製法によるインフルエンザワクチンに対応した新しい迅速安全性評価法の開発と標準化への検討	百瀬 暖佳
医薬品の環境影響評価ガイドラインに関する研究	西村 哲治
漢方処方製剤の安全性及び同等性の評価並びに生薬の品質確保と国際調和に関する研究	合田 幸広
医薬品の製造開発から市販後に及ぶ品質確保と改善に関する研究	奥田 晴宏
医薬品を巡る環境の変化等に対応した生物学的製剤基準の改正のための研究	加藤 篤
医薬品の微生物学的品質確保のための新規試験法導入に関する研究	室井 正志
GMP査察手法等の国際整合性確保に関する研究	四方田 千佳子
ワクチンの品質確保のための国家検定手法の国際協調に関する研究	渡辺 治雄
無承認無許可医薬品の調査・分析及び有害性評価に関する研究	大塚 英昭
蛇毒抗毒素に関するWHOガイドライン改訂等に伴う、抗毒素製剤等の効率的製造・品質管理対応に関する研究	高橋 元秀
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立（手術中の大量出血をいかにして防ぐか）	高松 純樹
輸血用血液製剤に対する副作用を生じない病原体不活化技術の開発に関する研究	山口 照英
赤血球製剤を含めた血液製剤の病原体不活化法の開発と不活化評価法の開発	岡田 義昭
植込み型生命維持装置の不具合に関する情報	笠貫 宏
薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究	和田 清
麻薬・向精神・指定薬物等の乱用防止に関する研究 国際的調和を踏まえた麻薬代替としての薬用植物等に関する研究	佐竹 元吉
違法ドラッグの危害影響予測手法と分析に関する研究	花尻（木倉）
違法ドラッグの精神依存並びに精神障害の発症機序と乱用実態把握に関する研究	船田 正彦
薬剤性肺障害における遺伝子マーカーに関する遺伝子学的検討等に係る研究	久保 惠嗣
献血者でのHBV-DNA陽性血におけるデルタ肝炎ウイルス感染の実態に関する研究	八橋 弘
薬害肝炎の検証および再発防止に関する研究	堀内 龍也
化学物質リスク研究	
化学物質リスク評価の基盤整備におけるトキシコゲノミクスの利用に関する研究（反復暴露影響及び多臓器連関性（発達過程を含む）に重点を置いた解析研究）	菅野 純
化学物質リスク評価における（定量的）構造活性相関（（Q）SAR）に関する研究	本間 正充
化学物質リスク評価法の国際的バリデーションに関する研究	大野 泰雄
化学物質、特に家庭内の化学物質の暴露評価手法の開発に関する研究	神野 透人
難分解性有機汚染物質（POPs）の胎児期暴露に関する研究	佐藤 洋
ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法の開発のための有害性評価および体内動態評価に関する基盤研究	広瀬 明彦
家庭用化学製品のリスク管理におけるヒトデータの利用に関する研究	吉岡 敏治
化学物質安全性情報の収集と発信に関する研究	城内 博

メタボローム解析およびバイオマーカーを用いた化学物質の有害性評価手法の開発に関する研究	曾我 朋義
高感受性集団に於ける化学物質の有害性発現メカニズムの解明及び評価手法開発にかかる総合研究	小野 宏
形態形成期・思春期などの高感受性期にある集団での核内受容体作動性化学物質等の有害性発現メカニズムの解明及びその評価手法にかかる総合研究	井上 達
ナノ材料の経皮毒性に関するトキシコキネティクスおよびトキシコプロテオミクス等の融合による有害性評価法・リスク予測法の開発	堤 康央
ナノ材料の経皮毒性に関する評価手法の開発に関する研究	津田 洋幸
化学物質の経気道暴露による毒性評価の迅速化、定量化、高精度化に関する研究-シックハウス症候群レベル低濃度暴露を考慮した吸入トキシコゲノミクスを核とする評価体系の開発-	小川 幸男
化学物質の子どもへの健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発	牧野 恒久
受容体アッセイ4種からなるヒト核内受容体48種すべてに対する化学物質リスク評価スキームの構築	下東 康幸
男児外陰部異常症および生殖機能障害と化学物質：個体感受性と暴露量に関するゲノム疫学研究	緒方 勤
前向きコホート研究による先天異常モニタリング、特に尿道下裂、停留精巣のリスク要因と環境化学物質に対する感受性の解明	岸 玲子
ナノ材料のヒト健康影響の評価手法に関する総合研究	福島 昭治
ナノ材料の遺伝毒性及び発がん性に関する研究	戸塚 ゆ加里
ナノ材料の健康影響の評価手法に関する総合研究	武田 健
化学物質の情動・認知行動に対する影響の毒性学的評価法に関する研究-特に遅発性影響の評価系のメカニズム解明による確立	北嶋 聡
情動・認知機能を定量化する包括的な行動毒性試験の構築	掛山 正心
化学物質による神経伝達物質受容体を介した精神毒性発現機序の解明および行動評価方法の開発に関する研究	鍋島 俊隆
化学物質の有害性評価手法の迅速化、高度化に関する研究-網羅的定量的大規模トキシコゲノミクスデータベースの維持・拡充と毒性予測評価システムの実用化の為にインフォマティクス技術開発-	菅野 純
化学物質リスク評価における(定量的)構造活性相関((Q)SAR)およびカテゴリーアプローチの実用化に関する研究	本間 正充
胎児への食品汚染物質曝露による性未成熟のインプリンティングとその評価法開発	山田 英之
有害作用標的性に基づいた発達期の化学物質暴露影響評価手法の確立に関する研究	渋谷 淳
出生コホートによる難分解性有機汚染物質(POPs)ばく露の次世代影響の検証	佐藤 洋
ナノ材料の健康影響評価手法の総合的開発および体内動態を含む基礎的有害性情報の集積に関する研究	広瀬 明彦
家庭用品に由来する化学物質の多経路暴露評価手法の開発に関する研究	神野 透人
化学物質の胎内ばく露による情動・認知行動に対する影響の評価方法に関する研究	成田 正明
健康安全・危機管理対策総合研究	
飲料水に係る健康危機の適正管理手法の開発に関する研究	秋葉 道宏
水安全計画による貯水槽水道の管理水準の向上に関する研究	早川 哲夫
建築物の衛生的環境の維持管理に関する研究	小畑 美知夫